



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 日本電気硝子株式会社  
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 有岡 雅行  
 (氏名) 稲増 耕一

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	189,700	△15.3	16,114	△26.5	14,435	△24.7	10,471	44.5
25年3月期第3四半期	223,914	△15.5	21,938	△62.9	19,163	△64.8	7,247	△73.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 19,565百万円 (45.6%) 25年3月期第3四半期 13,438百万円 (△36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	21.05	—
25年3月期第3四半期	14.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	702,099	506,897	71.1
25年3月期	697,385	495,294	70.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 499,336百万円 25年3月期 488,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—		
26年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△13.0	16,000	△35.9	14,000	△38.5	11,000	3.7	22.11
	~255,000	~△11.2	~18,000	~△27.9	~16,000	~△29.7	~13,000	~22.6	~26.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	497,616,234 株	25年3月期	497,616,234 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	216,865 株	25年3月期	208,204 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	497,404,730 株	25年3月期3Q	497,409,993 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
（継続企業の前提に関する注記） .....	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

[第3四半期連結累計期間]

## ①概況

世界経済は、欧州景気が持ち直しの動きを見せ、米国では個人消費や住宅市況の改善などを背景に景気回復が進みました。また、中国では輸出が回復する中、安定した成長が続きました。国内経済は、輸出が伸び悩んだものの、住宅や個人消費、雇用などが改善し、消費税増税前の駆け込み需要とも相まって、緩やかな回復が続きました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間においては、主力の液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスが、第1四半期（平成25年4月1日～6月30日）に回復軌道をたどったものの、第2四半期（平成25年7月1日～9月30日）以降は伸び悩みました。一方、他の事業については、一部で季節変動の影響を受けたものの、ガラスファイバなどの好調が支えとなり底堅い状況が続きました。これらにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上及び営業・経常利益のいずれもLCD用基板ガラスの出荷が堅調であった前年同期（平成24年4月1日～12月31日）を下回る結果となりました。

## ②経営成績

	前第3四半期連結累計期間 (24/4～24/12) (億円)	当第3四半期連結累計期間 (25/4～25/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,239	1,897	△15
営業利益	219	161	△27
経常利益	191	144	△25
純利益	72	104	44

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (24/4～24/12)		当第3四半期連結累計期間 (25/4～25/12)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	1,773	79	1,372	72	△400	△23
	その他用ガラス	465	21	524	28	58	13
合計		2,239	100	1,897	100	△342	△15

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

## ・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスは、第1四半期は回復基調でしたが、第2四半期後半以降、需要が減速し販売が伸び悩みました。光関連ガラスは、第2四半期に販売が鈍化したものの、第3四半期（平成25年10月1日～12月31日）に復調しました。電子デバイス用ガラスは、イメージセンサ用カバーガラスなどの販売が第3四半期に季節変動の影響を受け低下しました。太陽電池用基板ガラスの販売は、国内の電力固定価格買取制度に伴う旺盛な需要を背景に堅調に推移しました。

## ・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売は、主力の自動車部品向け高機能樹脂用や、セメント強化用が堅調に推移しました。建築・耐熱・その他の事業は、持ち直しの動きが続きました。

## (損益面)

円安等による原燃料価格の上昇などに加え、第3四半期は、韓国の新会社・電気硝子(Korea)株式会社に係る減価償却費や立ち上げコストなどが利益を下押ししました。これらにより、営業及び経常利益は前年同期を下回りました。四半期純利益については、前年同期を上回りました。これは、第3四半期において製造設備の減損損失を計上した一方で、当該設備のための特別修繕引当金を戻入したことなどによるものです。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成26年3月期通期連結業績予想)

	平成25年3月期 (24/4～25/3) (億円)	平成26年3月期 (25/4～26/3) (億円)	増減 (%)
売上高	2,873	2,500～2,550	△13～△11
営業利益	249	160～180	△36～△28
経常利益	227	140～160	△39～△30
純利益	106	110～130	4～23

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

内外の経済環境は、先行き不透明ながらも概ね回復基調で推移することが見込まれます。

このような状況下、第4四半期(平成26年1月1日～3月31日)については、主力のLCD用基板ガラスの出荷は、横ばいから小幅な伸びを予想しています。ガラスファイバは、自動車需要の拡大を背景に今後も堅調に推移し、他の事業についても概ね底堅い販売が続くものと見込んでいます。

一方、損益面では、電気硝子(Korea)株式会社に係る減価償却費や立ち上げコストのほか、原燃料価格の上昇や新製品開発に伴う費用などが利益を下押しする見込みです。当社グループとしては、引き続き、生産性の向上と費用削減に努め、利益の確保に全力を上げていく所存です。

上記第4四半期の見通しを踏まえ、平成26年3月期の通期連結業績予想については、平成25年10月25日の公表値を修正のうえ、上表のとおり予想しています。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	129,420	120,967
受取手形及び売掛金	45,824	44,071
商品及び製品	31,552	37,121
仕掛品	2,479	2,332
原材料及び貯蔵品	21,203	20,535
その他	13,199	13,578
貸倒引当金	△103	△82
流動資産合計	243,576	238,525
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	303,742	291,153
その他（純額）	91,633	106,535
有形固定資産合計	395,375	397,689
無形固定資産		
投資その他の資産	2,090	2,710
その他	56,383	63,221
貸倒引当金	△40	△47
投資その他の資産合計	56,342	63,173
固定資産合計	453,809	463,574
資産合計	697,385	702,099
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,805	31,660
短期借入金	22,712	15,187
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	1,423	982
その他の引当金	94	52
その他	28,003	28,834
流動負債合計	88,038	86,717
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	36,891	41,851
特別修繕引当金	35,032	34,713
その他の引当金	989	1,052
その他	1,138	868
固定負債合計	114,052	108,485
負債合計	202,091	195,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,351	34,351
利益剰余金	418,419	420,933
自己株式	△270	△274
株主資本合計	484,657	487,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,852	15,192
繰延ヘッジ損益	△67	75
為替換算調整勘定	△6,506	△3,096
その他の包括利益累計額合計	4,279	12,171
少数株主持分	6,358	7,560
純資産合計	495,294	506,897
負債純資産合計	697,385	702,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	223,914	189,700
売上原価	181,964	152,767
売上総利益	41,950	36,933
販売費及び一般管理費	20,011	20,819
営業利益	21,938	16,114
営業外収益		
受取利息	90	161
受取配当金	541	1,040
為替差益	—	1,450
その他	759	818
営業外収益合計	1,391	3,470
営業外費用		
支払利息	573	494
固定資産除却損	1,011	1,333
休止固定資産減価償却費	1,347	2,345
その他	1,233	975
営業外費用合計	4,166	5,149
経常利益	19,163	14,435
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	1,602	4,696
その他	160	111
特別利益合計	1,762	4,807
特別損失		
固定資産除却損	709	532
減損損失	755	2,742
投資有価証券評価損	4,074	—
その他	474	34
特別損失合計	6,013	3,308
税金等調整前四半期純利益	14,912	15,935
法人税等	6,765	4,297
少数株主損益調整前四半期純利益	8,147	11,637
少数株主利益	899	1,166
四半期純利益	7,247	10,471



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,147	11,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,894	4,339
繰延ヘッジ損益	△87	142
為替換算調整勘定	1,484	3,445
その他の包括利益合計	5,291	7,927
四半期包括利益	13,438	19,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,539	18,363
少数株主に係る四半期包括利益	898	1,201

## (3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,912	15,935
減価償却費	34,199	25,877
売上債権の増減額(△は増加)	1,153	2,332
たな卸資産の増減額(△は増加)	808	△4,900
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,870	△5,389
法人税等の支払額	△9,190	△4,818
その他	4,952	6,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,967	35,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△27,055	△32,633
その他	△10,415	△755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,471	△33,388
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額(△は減少)	△2,848	△2,584
配当金の支払額	△7,960	△7,958
その他	△94	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,903	△10,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,300	△8,622
現金及び現金同等物の期首残高	105,209	121,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,909	113,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。